

アスリート魂で市民の声を届け走り続けます！

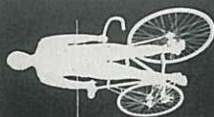
維新の会 仙台市議団（政調会長）

関戸 つとむ

住所：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5丁目10-5-117

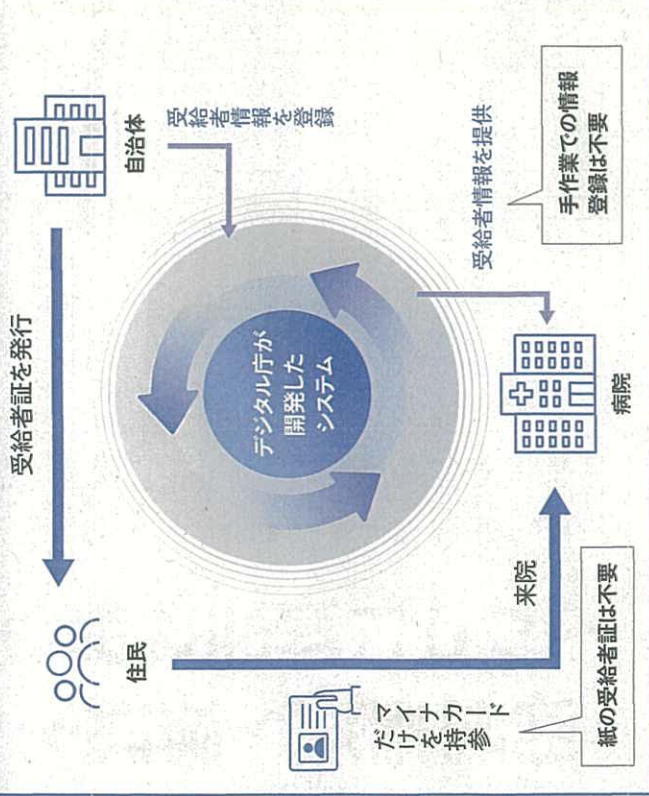
TEL：090-8150-2106

E-mail：info@sekiido-tsutomu.com



私の選挙公約としても訴えてきた、子供医療費助成制度18歳への拡充と一部負担金廃止に関しては、本当に喜ばしいことです。大学進学や社会人への準備を控えた時期の予期せぬ出費は各家庭を長年苦しめてきました。早期の拡充を訴えてきた議員の一人としては、議案に反対するものではありませんが、昨年まで予算の確保に課題があったことで、拡充を決めてきた市長がなぜ令和8年度からの拡充を決めたのか？既にやるべきことが決まっているのならなぜ、令和7年度からでなかったのか？疑問が残るところです。

書類の持参や手入力の作業を削減



令和8年度から子供医療費助成制度18歳への拡充と

一部負担金の廃止 (500円) の廃止

Q（私）：なぜすぐ（令和7年度から）開始できないのか？
A（こども若者局）：システム全般の改修が必要となり、円滑な実施には、医療機関等への周知を含め、準備に相当な期間を要することから令和8年度4月からの実施を予定している。

Q（私）：マイナンバーカードを使うことで早急に始められないのか？
A（まちづくり政策局）：本年3月には、子供医療費助成受給者証とマイナンバーカードの一体化が予定されているが、医療機関対応には、システム変更が必要であり課題がある。

Q（私）：子供医療費助成制度の拡充が始まる今!!市民・医療機関に対して、より一層マイナンバーカードの利便性周知に向けた取り組みを行うべきではないか？
A（まちづくり政策局）：マイナンバーカードは、保険証との紐づけで薬剤情報や特定検診の情報が共有され手続きなく高額療養費の限度額を超える支払いが不要になる。紐づけなどを行う専用の支援ブースを、仙台駅西口に設置してあり。新年度は全ての総合支所に拡充する。

令和7年度 第1回定例会 議会一般質問

仙台市の予算 歳入 歳出に関して

財政見通しへの不安 → 歳出（支出）が歳入（収入）を上回る状況

予算編成の状況

令和6年10月 翌年度予算を作るための方針策定・通知
令和6年11月 各部署による予算見直し → 7,115億円
11月～12月 財政局による精査・調整 → ▼358億円分事業精査
12月 令和7年度予算案 歳出予算案策定 → 6,757億円
令和7年1月 財源調整 歳入予測 → 6,375億円

令和7年度予算案 歳出 — 歳入 = 382億円不足
▼令和8年度～令和17年度まで、10年間の収支差 → 3,891億円程

▲歳入不足対応（382億円分）

- ・※財政調整基金取崩 190億円（基金残高 11億円）
- ・その他基金取崩 115億円
- ・行政改革推進債発行（借金） 17億円
- ・保有株式売却益 20億円
- ・市債管理基金借入 40億円

財政調整基金

歳入歳出の不均衡を調整し、財政運営の安定化を図るために設けられた基金であり、予期せぬ財政需要に対応するもの。大規模災害などの緊急事態に迅速に対応できるよう一定の残高を確保することも求められている。

ただし、本定例会の補正予算で、昨年繰り入れた財政調整基金が使われなかったという事で、不要額として歳入の減額補正がされ、基金に戻って来る事となった。毎年、歳入予算に繰り入れ、決算近くには不要で戻る額があるといえ、基金の趣旨としては由々しき事態となっている。また近年、保有株式売却益を財源にするなど財源対策余力も低下しているように見受けられる。何年も続いているのであれば、不健全な財政運営に陥っていると言えるのではないかと考える。

Q（私）：過去5年間の財政調整基金残高の推移をお示しください

A（財政局）：令和元年度末 266億円 → 令和3年度末 302億円 → 令和5年度末 256億円となっており、予算編成時に必要に応じて一定の残高を確保する必要がある。

Q（私）：大規模災害等の予期せぬ事態が起こった場合の財源はどこに？

A（財政局）：過去、有事の際は国の財政処置や本市事業の見直しによる予算組み替え等により対応した経験もございますが、歳入歳出の様々な取り組みにより、財政調整基金の適正な管理に努めて参りたい。

市内における 選挙投票率の低迷 は深刻な課題

65%～70%の市民が選挙に興味がない

2021年 仙台市長選挙 ▶ 29.09% 2023年 仙台市議会議員選挙 ▶ 34.3%

『市民の声が十分に市政に反映されているとは言えない』

現状、投票率が低迷しており特に若年層の投票率の低さは顕著である。仙台市においても、若年層の政治参加を促す施策が求められています。

Q (私)：今年度の取り組みと、主権者教育について伺う？

(スマートフォンを活用した投票案内の充実や若年層の主権者教育について)

A (選挙管理委員会)：投票する候補者を選ぶのに最も役立つ情報→選挙公報

・令和7年度選挙公報から ⇒ ポスター等へ二次コード ⇒ スマホで確認可能

・投票所の立会人を、大学生に担ってもらい選挙への理解を深める。

・ラッピングを施した電気自動車を活用したインパクトのある広報を行う。

予算等審査特別委員会 質問

●仙台こども財団の運営と新年度の取り組みについて

●海浜エリア活性化とループバス事業の民間実装に向けた道筋について

都市整備建設委員会 報告

●水道事業中期経営計画 (2025年度～2029年度)

●新緑祭 令和7年4月26日 (青葉山公園)開催



自転車駐輪場の入り口付近における安全確保について

Q (私)：仙台駅東口地下駐輪場入口についてです。入口手前には横断歩道があるため、信号待ちの方が多く滞留している場所です。利用者がバイクから降車せずに車道から歩道に乗り上げ入口へ入っていく様子を何度も確認いたしました。歩行者と接触する事があれば大惨事になる事案だろうと感じたところですが、何かしらの対策が必要なのではないかと思っておりますが、ご所見を伺います。

A (建設局)：現地を確認し、危険な現状であると認識しました。速やかに注意喚起の看板を設置する事といたします。



仙台駅東口地下駐輪場入口付近 (本人撮影)

選挙における 投票率向上のための戦略と方針

本年(令和7年)夏には、仙台市長選挙があります！
令和7年度の市長の施政方針で、投票率は上がるのか？

インバウンド推進と豪華客船 (クルーズ船)の誘致活動について

仙台港におけるクルーズ船寄港の現状

- ・2024年度(年間寄港数) 青森港 36隻 仙台港 9隻
- ・クルーズ船ターミナルがない
- 【文化観光局】現状の課題
- ・青森港や函館港のターミナルに比べると貨物ターミナル感が強い(下記写真参照)
- ・ふ頭から市街地までの距離がある



Q (私)：クルーズ船を多く誘致する事は、外国人観光客に仙台市の魅力を発信してもらい、別の交通手段での再訪が考えられるが、今後どのような活動を行うのか？

A (市長)：インバウンドの大幅な拡大を目標に掲げ、欧米豪などの新たな市場開拓を盛り込んだ。クルーズ船の利用者は欧米からの富裕層が多く、市内での周遊や消費といった直接効果や、本市の魅力の一端に触れていただき、再び仙台・東北を訪れていただくことも期待できる。宮城県や東北経済連合会とも連携をし、誘致に向けたセールス活動を展開していくとともに、市内の見どころや食文化など多様な魅力を効果的に発信して参ります。



現在のクルーズ船接岸地点対岸



接岸地点(本人撮影)